

サツマイモ^{*1}(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	黒斑病	斑点病	つる割病	基腐病
Zボルドー水	無機	M1		-	-		◎		◎
ドイツボルドーA水	無機	M1		-	-		◎		
ジーファイン水	無機・無機	NC・M1		1	-				◎
アミスター20FL	Q o I	11		14	3				◎
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		*a	1	◎			
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		*a	1	◎		◎	◎
				*b				◎	
				7	3		◎		
ベンレートT水20	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1		*a	1	◎		◎	

*1:サツマイモ…カンショ(シモンいもを含む)

*a:植付前 *b:挿苗時

サツマイモ

サツマイモ*¹ (野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	アブラムシ	コナジラミ	ネギアザミウマ	イトモコム	シロイチモジ	ハスモンヨトウ	ネキリムシ	ナカジロシタ	エビガオハモグリガ	ヒルガオハモグリガ	ハリガネムシ	ゾウムシ	ヨツモンカメノコ	ケハダニ	センチュウ
バイオセーフ	天敵生物	—	*f	—															
コロマイト乳	アクトイト [®]	6	1	2															◎
アタブロン乳	I GR	15	7	5					◎										
カスケード乳	I GR	15	7	2					◎	◎									
ノーモルト乳	I GR	15	7	2					◎	◎					サ				
マッチ乳	I GR	15	14	2					◎	◎									
マトリックFL	I GR	18	7	3					◎	◎									
ロムダンFL	I GR	18	7	3					◎	◎									
ビーラム粒	アミド		*c	1															セ
オリオン水40	カーバメート	1A	劇	1	5			◎	◎	◎									
バイデートL粒	カーバメート	1A	劇	*j	1														ネ
ガードホープ液	殺線虫	1B	劇	*c	1														ネ
ネマキック粒	殺線虫	1B		*c	1														ネ
ネマトリンエース粒	殺線虫	1B		*n	1														ネ
				*c	1														ネ
ラグビーMC粒	殺線虫	1B		*c	1								◎	◎					ネ
サンマイトFL	殺ダニ	21A	劇	1	2		◎												◎
ダニサラバFL	殺ダニ	25A		1	2														◎
ニッソラン水	殺ダニ	10A		7	2														◎
マイトコーネFL	殺ダニ	20D		3	1														◎
フェニックス顆水	ジアイト [®]	28		1	2				◎	◎									
ブレバソソFL5	ジアイト [®]	28		1	3				◎	◎									
ベネビアOD	ジアイト [®]	28		7	3				◎	◎	◎				イ	◎			
ディアナSC	スチロリン	5		1	2				◎	◎									
アクタラ粒5	ネニコチノイト [®]	4A		*c	1										幼				
				*k					◎										
アドマイヤー1粒	ネニコチノイト [®]	4A		*c	1										◎				
アルバリン顆溶	ネニコチノイト [®]	4A		3	1	◎	◎												
スタークル顆溶	ネニコチノイト [®]	4A		7	2	◎													
ダントツ溶	ネニコチノイト [®]	4A		7	2	◎													
ダントツ粒	ネニコチノイト [®]	4A		*k	1	◎													
				*c											◎	ト			
ビーラムプラス粒	ネニコチノイト [®]	4A		*c	1										◎				セ
ベストガード溶	ネニコチノイト [®]	4A		*k	3	◎	◎												
モスビラン顆溶	ネニコチノイト [®]	4A	劇	1	3	◎											◎		
アグロスリン水	ピレスロイド [®]	3A	劇	7	5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						

サツマイモ

サツマイモ*1 (野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	ア	コ	ネ	イ	シ	ハ	ナ	エ	ヒ	ハ	ソ	ヨ	ケ	セ	
					ブ	ナ	ギ	モ	ロ	ス	キ	カ	ル	ガ	ガ	ウ	ン	ン	ン
					ラ	ジ	ア	ト	イ	モ	リ	ガ	ガ	オ	ネ	カ	メ	ダ	
					ム	ラ	ザ	ウ	チ	ン	ム	ラ	オ	ハ	ム	シ	ノ	チ	
					シ	ミ	ミ	ム	モ	ヨ	シ	シ	ハ	モ	シ	コ	ハ	ユ	
					マ	ウ	ウ	シ	ジ	ト	ウ	ズ	モ	グ	ハ	ム	シ	ウ	
													リ	リ	シ	シ	ラ	ウ	
													ガ	ガ	シ	ハ	ニ	ウ	
アディオン乳	ビレスロイト*	3A		7	5			◎											
ガードバイトA粒	ビレスロイト*	3A		*Q	5						◎								
トレボン乳	ビレスロイト*	3A		7	3	◎				◎	◎								
フォース粒	ビレスロイト*	3A	劇	*c	1								◎	幼					
プリンスバイト粒	フェニルピラゾール	2B		*c	1								◎	◎	イ				
アニキ乳	マクロライト*	6		1	3					◎	◎								
アフーム乳	マクロライト*	6		7	3				◎	◎									
スミチオン乳	有機リン	1B		7	5	◎		◎									◎		
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		30	3										幼				
ダイアジノンSLゾル	有機リン	1B		*c	1						◎				幼				◎
				30	2														
粘着くん液	天然物由来	-		1	-														◎
アクセルFL	他	22B		1	3					◎	◎						◎		
グレースシア乳	他	30		7	2	◎				◎	◎								◎
コテツFL	他	13	劇	1	2				◎	◎							◎		◎
コルト顆水	他	9B		1	3	◎	◎												
トルネードエースDF	他	22A		7	2					◎	◎								
ブレオFL	他	UN		7	2					◎	◎								
ブロフレASC	他	30		1	3					◎	◎							◎	
アフームエクセラ顆水	IGR・マクロライト*	15・6		14	2					◎									
ハクサップ水	ビレスロイト*・有機リン	3A・1B	劇	7	5			◎		◎	◎	◎							
アリモドキコール粒	有機リン・フェモシ	1B・-		-	*p														ア

*1:サツマイモ…カンショ(シモンいもを含む)

*a: 植付時 *c: 植付前 *f: 成虫発生初期 *j: 植付前(挿苗前) *k: 育苗期

*n: 苗床植付前 *p: 5~6回 *Q: 生育初期

ア: アリモドキゾウムシ イ: アリモドキゾウムシ及びイモゾウムシ

サ: ハイイロサビヒョウタンゾウムシ セ: ネコブセンチュウ及びネグサレセンチュウ

ト: トビイロヒョウタンゾウムシ ネ: ネコブセンチュウ

幼: 幼虫

サツマイモ

サツマイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(基腐病)	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 Zボルドー 500倍 ジーファイン水和剤 1000倍 アミスター20フロアブル 2000倍	
つる割病	伏込前	・種いもは健全なものを使用する。	種いも伝染、苗伝染、土壌伝染する。 特に種いもは健全なものを選抜する。
	定植前	1. 土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤に苗基部を浸漬処理する。 ベンレート水和剤 500~1000倍液 20~30分間	
	挿苗時	・次の薬剤を株元にかん注する。 ベンレート水和剤 500~1000倍液 20~40ml/株	
軟腐病	伏込前	・健全無傷いもを使用する。	本病はリゾープス菌による。 主として貯蔵中に発生し、いもの生活力がいちじるしく低下したとき病原菌が傷口から侵入し発病する。
	貯蔵中	・罹病いもは速やかにとりのぞく。	
ナカジロシタバ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 トレボン乳剤 1000倍 ノーモルト乳剤 1000倍	8~9月に発生が多い。
イモコガ(イモキバガ)	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 3000倍 スミチオン乳剤 1000倍	乾燥のときに発生が多い。
コガネムシ類幼虫	植付前	・次の薬剤を処理する。 フォース粒剤 全面土壌混和又は 作条土壌混和 9kg/10a	未熟堆肥の多用は発生を助長する。
	生育期(7月下旬~8月中旬)	・次の薬剤を作条に散布して軽く覆土する。 ダイアジノン粒剤5 4~6kg/10a	
ネコブセンチュウ	苗床植付前	・次の薬剤を全面に施用して土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 10~30kg/10a	

サツマイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
(ネコブセンチュウ)	植付前	1. 土壌消毒をする(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤のいずれかを施用して土壌混和する。 ネマキック粒剤 (全面) 15～50kg/10 a ネマトリンエース粒剤 (全面) 10～30kg/10 a	